

今月の「未来へつなぐ」では、“地域のボランティア活動”と“追分駅前で始まった新たな活動”について書いてもらっています。

早来守田で清掃活動のお手伝い



ゴミを分別中のボランティア

6月24日(月)早来守田地区にて、公費解体を行う予定の住宅の家財等のゴミ出し、分別のお手伝いをしました。昨年の震災後、被害が大きく復旧作業に時間がかかってしまっている早来の守田地区。事前に行われた「町づくり懇談会」をきっかけに復興ボラセンに直接守田地区の方からお話をいただき、災害ボランティアの支援という形で今回の作業を行うことができました。住民の方からは「震災当時はこんな道路状況のところにボランティアの方を呼ぶのは申し訳なかったし、避難しているため自宅の様子が多分分からなかった。家に帰って来てからも仕事があるからなかなか自分の家の片付けが出来ず、今の時期まで来てしまった」とのこと。

今後も「今困っているけどどうすればいいのか分からない」というお話がありましたら、安平町復興ボランティアセンターまでご連絡いただければと思います！どなたでもどうぞお気軽にご相談ください！



追分駅前に『復興に向けたコミュニティ・スペース』“ENTRANCE”を作ります！

復興ボラセンは現在、数年前まで「宮内薬局」として使われていたJR追分駅前の空き店舗を「復興に向けたコミュニティ・スペース（通称：ENTRANCE（エントランス）」として生まれ変わらせようと活動しています。

このスペースは町内の子どもからお年寄りまで、幅広い層の方が気軽に立ち寄りゆっくりくつろいでいただいたり、町内会の会合や子ども連れのお母さん方が集まれる場所にしてもらうなど、町民の方々と話し合いながら多様な使い方ができる空間を目指しています。

ちなみにこの名前は英語で「玄関」や「入り口」という意味があります。単純に追分駅前にあるので「安平町そのものへの入り口」という意味もありますが、「安平町の復興への入り口」、「子どもたちの未来への入り口」、「自分が新しい世界と出会うための入り口」などといった思いも込めて「ENTRANCE」にしよう決めました。この場所で町内の方が参加しやすいイベントも頻繁に開催していき、誰でも気軽に入りやすい、話しやすい雰囲気のある場所にできたら良いなと思っています。

今後のENTRANCEの動きについては追ってご連絡していきますので、よろしくお祈りします！！



追分駅前にある ENTRANCE (旧宮内薬局)

復興ボラセンは“緑のユニフォーム”を着て活動しています！



先月の中頃、「災害ボランティアで作業していた者だけ、今何か困っていることはないか？」「ボランティアでこの町に来ていた者ですが、選挙の際にはこの人に投票をよろしくお願いします」などと、自分はボランティアだと謳って町内を回っている人を見たという情報が復興ボランティアセンターに入りました。

まず、復興ボラセンではそういった活動を行ったり、単独での行動は行なっていませんので、相手の素性が分からない場合は十分にご注意ください。

また、復興ボラセンメンバーは外で活動する際には見てすぐ分かるように、専用の「緑」のユニフォーム・ビブスを着用し、活動することにしています。緑の生地に「ABIRA」と「abc」のロゴが入っているユニフォームかビブスを着ている人を見かけたら、それは「安平町復興ボランティアセンター」のメンバーですので、安心してお声がけください！



(一社) 安平町復興ボランティアセンター

TEL: 070-3139-0374

MAIL: abira.fukkouborasen@gmail.com



復興ボランティア
募集！



今、安平を変える時。

記事提供
編集・校正

安平町復興ボランティアセンター
安平町役場総務課情報グループ